

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年3月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671400150
法人名	医療法人 浩愛会
事業所名	グループホーム ひまわり苑
所在地	鹿児島県垂水市錦江町1番地240 (電話) 0994-32-6166
自己評価作成日	令和2年2月14日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年3月3日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

錦江湾に面した位置にあり、晴れた日は桜島を綺麗に眺めることができます。季節ごとに野菜の栽培など、入居者様の経験をスタッフに伝授して頂き、植え付けから収穫までみんなで取り組んでいます。職員の年齢幅は大きいですが、各世代の特徴を活かし、ケアチームとしての融合を図りながら入居者様1人ひとりの”自己実現”に向けて取り組んでいます。また、スタッフ一人ひとりのスキルアップを図るために、外部研修等に参加している他、内部研修においては交代でスタッフ全員が講師を務めるような工夫も行い、聞くだけではなく、人に伝える難しさなどを経験しながら、目に見えるスキル向上を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は母体が医療法人であり24時間医療連携体制が整っている。隣接して同法人の小規模多機能ホームやグループホームがあり、防災訓練や管理者間の交流等の連携が取れている。
- ・職員は理念を柱に研修を積んで利用者の人権を守り、尊厳の気持ちを持って対応している。認知症サポート養成講座の講師を努めたり、地域包括支援センターの協力もあり、高齢者福祉の支援に取り組んでいる。
- ・海岸の清掃作業に参加したり幼稚園とのふれ合いや地域の夏祭り等で交流を図っている。行事の際はボランティアの訪問があり、地域との関わりを大切にしている。
- ・利用者と家族の絆を大切に、夏祭やクリスマス会・忘年会は食事を一緒に行い、和やかな時間を持っている。家族会はテーマを決めて充実している。外食ツアーの計画もある。
- ・管理者は職員の意見や提案に取組み支援に活かしている。資格取得を奨励し利用者に良質の介護サービスを反映している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所が開設時に職員全員で作成した理念であり、地域密着型サービスの位置づけられた再度話し合いを行った。会議の時などに理念の再確認を行い、意志の統一を図っている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を、ホールに掲げて職員会議等で振り返りを行い、ケアを共有し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	住宅地と離れているので地域との連携は難しい部分もある。地域振興会の会員になっているので地域の清掃活動など参加している。見学なども時間等決めずに常時受け入れている。	回覧板や週報で地域の行事や情報を得ている。海岸の清掃作業参加や地域の夏祭りの見物に出かけたり、幼稚園との交流や地域サロンに参加し地域住民とのふれ合いもある。認知症サポーター養成講座の講師を努め、認知症の理解や支援の方法などを伝え、地域に貢献している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域で行われているサロンに出向き、グループホームの周知に努めている。また、認知症サポーター養成講座にも出向き、認知症の周知に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>参加者から意見をもらい、それを実践に生かすよう努力している。近年介護事故などニュースになりそれによる対策を参加者等と話取り組みを行っている。</p>	<p>2ヶ月毎に開催している。事業所の概要や運営の目的・方針・基本理念などを報告し、入居者の状況や行事・研修・ヒヤリハット・事故時の家族への対応・感染症対策・面会制限の対応・食事に関する事等、意見を交換している。出された意見はサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>色々な機会をとらえて話をするようにしている。相談事項や質問などにきちんと対応してもらっている。</p>	<p>市の担当者とは窓口に出かけたり、電話で相談や助言を貰っている。地域包括支援センター職員が来所の折、状況を話したり意見交換をしている。介護職の研修会や認知症サポーター養成講座の講師依頼があり協力関係を築いている。グループホーム連絡協議会にも参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人内の身体拘束廃止委員会に参加し、日常生活の中でどのような事が身体拘束になるかを具体的に話し、職員全体に意識づけを行っている。</p>	<p>法人内の身体拘束廃止委員会に1ヶ月に1回、ホームの代表者が参加して、職員に伝達研修をしている。マニュアルを基にケア会議や職員会議で、言葉の拘束も含め定期的に勉強会を実施している。日中は玄関の施錠はせずに外出したい時は職員が付き添って、気持ちの落ち着くまで寄り添い、拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待事案が多発する中、近年では特に力を入れている。また、スタッフのみの話にせず、家族会を活用しながら、家族とも一緒に虐待事案を考えるようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	全ての職員が内容をきちんと理解できるように、勉強会をしている。法人でも、行政から講師を呼んで勉強会を実施している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約から時間の経過と共にニーズの変化はあると考え、定期的に話をするように心がけている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会等で意見を出してもらっている。家族がいつでも誰でも相談できるような雰囲気作りに努め、家族から出た意見を会議で話し合い全員に共有している。	利用者からは入浴の時や夜間の眠れない時等のゆっくりした時間に懇談している。家族からは面会や家族会・夏祭・クリスマス会等で、一緒に食事を摂る時に、意見や要望を聞いている。出された意見は、記録して会議で話し合い運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ホーム全体の会議やユニット毎の会議で職員に意見を聞いている。個別には2～3ヶ月に1回話を聞いている。	管理者は、話易い環境を整えている。落ち着いた場所で3ヶ月に1回、個別に対応している。職員に意見を書いてもらうこともあり、表情等から気配りや声かけをしたり、勤務体制は職員の希望に応じている。職員の資格取得には協力し支援している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者はよくホームを訪れ入居者の健康状態や職員の健康状態に気をかけている。職員もやりがいを持って働ける様に資格習得も積極的に行っている。現在、法人では実務者研修を行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本人の希望や資格・経験年数を考慮して研修に参加している。研修報告は会議の中にて報告し報告書も提出している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市が主催の研修会等で他事業所間の交流を図るように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>家族と事前に話し合い、本人の様子や今までの生活の様子・思い・悩み等聞き取る。本人ともよく話をし信頼関係作りに努める。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居時には、話を聞く事を心掛けている。その中で家族の思いや悩みなど、本人の思いとは違う場合もあるのでそれぞれに対応する。いつでも話掛けられるような雰囲気作りを心がけている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>その時に困っている事や不安に思っている事にはすぐ対応し、困難な場合は職員間で話し合い解決方法を導き出し家族にも説明している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>介護する側される側という意識をなるべくなくし、ホーム内に足を踏み入れたら自分の家自分の家族だという意識をもち、日々関係づくりに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族には来られた際は、必ず報告を行っている。遠方の家族には便り等で報告を行っている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>職員と一緒に自分の家を見に行ったり、ドライブに行ったりしている。知り合いに会うとよく声を掛けて下さいます。</p>	<p>馴染みの関係は、知人・家族・ボランティアのつながり等があり、面会時は居室でお茶を出してゆっくりしてもらっている。ドライブで、職員と一緒に自宅訪問したり、美容室や墓参りは家族の協力を得て、馴染みの関係が途切れないように支援に努めている。遠方の家族と電話の取次ぎを行い支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士の関係変化を見逃さない様につけ、また関係が悪化する前に職員が間に入り支援している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院された方は定期的に面会に行き状態を把握するようにしている。特に病院の医療ソーシャルワーカーとは連絡を取り合っている。</p> <p>退居された家族からも相談を受けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の暮らし・関わりの中で把握し職員間でも共通理解ができる様にしている。意思疎通が困難な方には家族から情報をもったり、アセスメントシートを活用している。	日常の関わりの中で声かけして懇談したり、利用者間の会話から思いを把握している。「家に帰りたい」「主人に会いたい」「旅行に行きたい」等があり、職員で共有して、家族にも伝え対応している。困難な場合は家族や職員間の情報で把握し、支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時の聞き取り以外でも、本人と話をしていると色々な話の中から情報を聞き取り、申し送りを行い情報共有を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の生活の中で職員の気づきや、新しく出来たこと、出来なくなった事にも注目し小さな変化も気をつけている。また、個々の生活リズムも大切にしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族には意見を聞くようにしている。アセスメントやモニタリングは全職員で行い、ケアプランに反映している。	担当者会議で本人・家族・管理者・担当職員で話し合い主治医の意見を入れて介護計画を作成している。モニタリングは新期は1ヶ月で、後は3ヶ月で行っている。気付きノートの活用もしている。状況に変化があった時は、その都度見直し、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護記録、ケアプランに対する実績記録、排尿・排便・睡眠時間チェック、食事・水分量チェック・レクリエーションの記録を行い、ケアプランの見直しの時には活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>急な外泊や外出にも臨機応変に対応している。緊急時や病院受診が必要な時でも柔軟に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>民生委員や消防関係、近隣の事業所とは連携がとれている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時に本人や家族の希望を聞いている。医療法人なのでそちらのかかりつけが多いが、それ以外でも家族が付き添われて受診されている。</p>	<p>本人・家族が契約時にかかりつけ医について話し合い、できるだけ希望通り適切な医療が受けられるようにしている。協力医の往診もあり定期的な受診は職員の付き添いで行っている。結果は家族に報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>小さな変化も見逃さないように気をつけ、その都度看護師にも報告している。利用者の状態も良く理解しているの所以对応ができています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院時には必ず情報提供を行っている。早い段階から病院の医療ソーシャルワーカーと連携をとり、早期退院に向けての方針を話している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化してきた時には家族、医師を交えターミナルケア指針に添って話をしている。職員とも話し合いながら取り組んでいる。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針を基に、入居時に説明し同意を得ている。状況変化に伴い主治医から家族へ医療機関の紹介やターミナルケア指針等を説明し意向を確認している。看護師も在任しており、看取りの経験がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防による心肺蘇生の講習を受けている。また、全員が同じように対応できるように施設内で看護師が勉強会を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を年3回行っている。隣接する小規模多機能ホームとGHと連携し近隣の人たちの参加もある。</p>	<p>避難訓練は年2回、消防署の指導の下、昼夜想定で3事業所合同で実施している。避難経路、避難場所、緊急通報装置、連絡網など点検している。消火器使用、心肺蘇生法の指導も受けている。民生委員、隣接のマーケット、葬祭場の協力もある。スプリンクラーを設置し防災設備は業者が定期的に点検している。津波や地震のマニュアルは法人で見直ししている。災害時の備蓄は米・水・カレー・牛丼・親子丼・ラーメン等を用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いはその都度注意している。声の大きさやトーンにも注意するよう指導している。まず入居者様がどうして欲しいのかを考え、言葉かけを行うようにしている。	その人らしさ、生活スタイルを日常の関わりの中から把握している。排泄・入浴介助は同性介助を行い、羞恥心に気配りしている。職員間の会話、申し送り等、入居者に聞こえないように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員は本人に何が出来るのかを見極める。出来ないからさせないのではなく、出来るように工夫して支援を行う。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度1日の流れはあるが、ひとりひとりのペースを尊重して支援ができる様心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	職員の主観で物事を考えない様にしている。入居者一人ひとりの「こだわり」を理解し、ご本人がしっかり自己選択ができる環境作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は一番の楽しみ！そんな思いをスタッフ全員で共感し、メニュー紹介などにも力を入れ、食事を楽しんでいただく様になっている。また、食べるだけでは準備から片付け迄、利用者様、スタッフが一緒に取り組める環境づくりに努めている。	栄養士の助言を受けて職員が調理している。嗜好を把握し食形態も個々に合わせて、楽しい食事になるよう提供している。行事食やおせち料理・誕生日・ひな祭り・花見弁当等を楽しんでいる。外食ツアーも計画している。洗米・皿洗い・野菜の下ごしらえ等、職員と利用者が一緒にする場合もある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事に関してはできるだけ、常食を基本に提供している。ややリスクのみ考える傾向から、本人の能力に応じた食事提供が以前は出来ていなかったが、本人の満足いくような食事形態での提供に心がけている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔内のアセスメントを定期的に行い、口腔内の把握に努めている。毎食後の口腔ケアはもちろんの事、出来るだけ自分の歯は自分できれいにすることを念頭に支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	失禁するからオムツ使用の考えではなく、排泄記録を基に排泄パターンを把握し、日々のケアで誘導間隔の試行錯誤を行いながら根拠に基づいたケアに心がけ、オムツゼロを念頭に取り組んでいる。	排泄チェック表を活用して、排泄パターンを把握し、声かけしてトイレ誘導している。オムツからパット不使用に改善された例もある。排泄用品も個々に合わせて、気配りしながら、排泄の自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	基本的には規則正しい食事、適度な運動を基本に予防を行っている。緩下剤も備えているが、出来るだけ頼ることなく、健康的な排便ができるように心がけている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的にはご本人の同意を原則として実施している。日中に入浴が集中する傾向が強いが、夕方に希望される方も時よりいて、安全に配慮したうえで実施している。	入浴は毎日を目安に、本人の意思で柔軟な支援をしている。入浴を拒む利用者は無理強いしないで、時間を変えたり、言葉かけをして風呂場へ誘導し気持ちよく入浴し清潔保持できるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一日の生活の中で安心した時間が持てる様配慮している。居室以外でも安心して休める場所を作り、睡眠時間を個々のパターンを知りそれに合わせて支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	2週間間隔の往診に合わせて、直接薬剤師が出向き、処方の説明を行っている。また、内服変更時も同時に薬剤師より説明を受け、スタッフの内服に関する理解、周知に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様に少しでも役割を持ってもらうよう支援している。コーヒーやお茶を飲んだり、将棋をしたりしている方もいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>散歩は可能な限り行くようにしている。買い物も一緒に行ったりしている。家族もお墓参りや外食に連れて行かれる。</p>	<p>その日の希望にそって外気浴や散歩をしている。食材の買い物に職員と出かけたり、外食ツアーの計画もある。地域の夏祭りの見物や花火等を楽しんでいる。家族と帰宅や墓参り・外食等に行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族と相談し少額のお金を持っている方もいる。お金を預かった方も買い物に行ったときは自分で支払うようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話は希望があればいつでもかけられる様にしているが、自分の携帯電話からかけている方もいる。手紙は最近少ない。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>どこでもいつでもくつろげるように工夫はしている。居室の装飾は季節感を取り入れ、居室は個人の好みや使いやすさに合わせている。</p>	<p>共用空間は広々として照明が柔らかい。窓は掃出し窓で、室内の温・湿度の空調管理が行き届いている。行事の写真や季節の作品が飾っている。畳の部屋があり落ち着ける。配席にも配慮し、居心地よく過ごせるような工夫がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	廊下奥に座る場所を設けたり、色々な場所を想定して居心地の良い場所づくりを行っている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	入居の時に家族とよく話をし、本人の馴染み深い物を持ち込んでもらうようにしている。入居後でも必要な物があれば一緒に自宅に取りに行く。	エアコン・ベッド・押し入れがある。トイレ設置の部屋が2室ある。家から持ち込まれた布団・椅子・テレビ・家族写真・暦・時計・ぬいぐるみ等が置かれ、居心地よく過ごせるように設営している。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	居室の場所・トイレの場所など分かりにくかったり、間違いやすいような場所には大きく表示したり工夫をしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない